

# 突発災害時における夜間時の避難誘導対策に関する調査研究小委員会

株式会社エイト日本技術開発  
山口 直也

突発災害時における夜間時の避難誘導対策に関する調査研究小委員会

1

## 小委員会について

- 活動期間  
平成28年12月～平成31年3月（2年3か月）
- 委員長 大野 春雄  
（特定非営利活動法人建設教育研究推進機構）
- 副委員長 荏本 孝久
- 幹事長 山口 直也
- 委員 8名（平成29年5月23日時点）
- 平成29年3月15日に第1回委員会（活動方針に関する審議を実施）

突発災害時における夜間時の避難誘導対策に関する調査研究小委員会

2

# 小委員会の活動

YAHOO! JAPAN ニュース 特集トップ Yahoo!ニュース 特集について Yahoo! JAPAN



JIS～拘束力なき国家規格～「命の誘導標識」をめぐって  
3/22(水) 11:30 配信  
赤石佳子

鉛筆や消しゴム、乾電池など身近な工業製品の多くに「日本工業規格」は使われている。略称「JIS」。品質や性能、安全性の水準を維持するための国家規格で、規定の項目をクリアした製品は「安心」とされてきた。ところが、高知県黒潮町で「JISとは何か」を根本から問う出来事が起きているという。この町は、南海トラフ巨大地震が起きれば、高さ34メートルという国内最大級の津波が襲うと予想されている。問題となっているのは、万が一に備える「津波避難の誘導標識」の耐久性に関するJIS。町は独自の判断で試験項目の数を減らし、発注したのだという。「国家規格」をうたいながら、実はJISには法的拘束力がない。しかし、JISの試験項目を発注者が独自に減らすことができるとしたら、「安心」の保証はどこにあるのだろうか。その対象が「命の誘導標識」だとしたら――（Yahoo!ニュース編集部）

<https://news.yahoo.co.jp/feature/556>

突発災害時における夜間時の避難誘導対策に関する調査研究小委員会

3

# 小委員会の活動

- 前身の「突発災害時における避難誘導に関する研究小委員会」の成果として、避難誘導標識システムに関するJIS (JIS Z 9097,9098) が制定された。
- JISには法的拘束力がないこともあり、本来の趣旨から外れた運用がなされている事例が発生。
- 全試験項目を満たして初めてシステムの性能が確保され、住民の命・安全を守るためのシステムとなるのであり、使用者(自治体)の自由で項目が削られてしまえば安全性が担保されない。
- 試験項目を満たしていないことにより性能を発揮できていない実態の調査等を通じて全項目の必要性を確認し、その成果を広く公表していく等して、JIS規格制定時の趣旨を正しく理解した運用がなされる流れの確立を目指す。

突発災害時における夜間時の避難誘導対策に関する調査研究小委員会

4